

お知らせ

順天堂大学医学附属浦安病院では、以下の後方視的研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

当院における急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫について腫瘍細胞の抗がん剤解毒酵素活性と治療成績を検討する後方視的研究

【研究機関】 順天堂大学医学部附属浦安病院血液内科

【研究責任者】 野口雅章（血液内科 教授）

【研究の目的】

急性白血病、悪性リンパ腫患者さんの診断時保存検体(リンパ節、骨髄、組織等)中の腫瘍細胞に対して、抗がん剤の効果にかかわるか様々な因子を検討し診療に役立てたいです。

【研究の方法】 保存検体の病理組織検査とカルテ情報です。

(対象となる患者さん) 2010年1月1日から倫理委員会承認日までの間過去に当院血液内科にかかった急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の患者さんで後方視的研究です。特にアドリアマイシンやイダルビシン療法を含む化学療法を行った患者さんが対象です。当院で300名の解析を予定しています。保存検体中の腫瘍を免疫組織染色という方法で調べます。腫瘍細胞内に存在する抗がん剤の解毒酵素(アドリアマイシンやイダルビシン分解酵素の一部のアルドケト還元酵素 family 1 B1, B10, C3 というタイプ)の分析をします。他の因子検索として、腫瘍免疫(PD-1)、腫瘍増殖蛋白(MYC, P53)等を調べます。さらに診療録(カルテ)の臨床情報を収集し、予後との検討を行うことといたしました。皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

(利用するカルテ情報) 発病時年齢、病型、期間、治療効果判定、末梢血検査、凝固検査、生化学検査、骨髄検査、リンパ節・腫瘍生検、フローサイトメトリ

一と免疫組織化学、染色体・遺伝子検査。

(利用する検体) 既に患者さんから得られているリンパ節、骨髄、組織のホルマリン固定パラフィン包埋保存検体です。研究期間は承認日から 2020 年 12 月 31 日までです。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化したしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）および余剰検体の利用を希望されない方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科 野口 雅章

279-0021 千葉県浦安市富岡 2 - 1 - 1

Tel: 047-353-3111